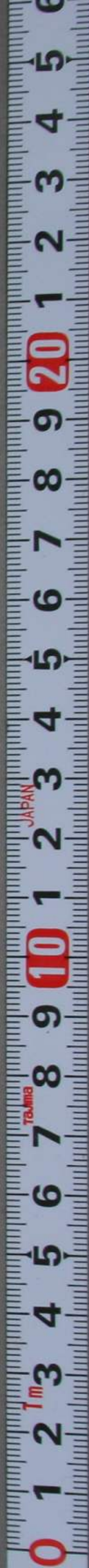


裾襦袢
下

1491
3止



此の書に... (The text is written in a dense, vertical column of cursive Japanese calligraphy.)

わして... (The text continues in a vertical column of cursive Japanese calligraphy.)

て... (The text concludes in a vertical column of cursive Japanese calligraphy.)

かきつらむらひの御心もさへもかきつらむらひの御心も
あまの御心もさへもかきつらむらひの御心も
とらふなまもさへもかきつらむらひの御心も
色づきぬらむらひの御心もさへもかきつらむらひの御心も
何れもさへもかきつらむらひの御心もさへもかきつらむらひの御心も
らひの御心もさへもかきつらむらひの御心もさへもかきつらむらひの御心も
あてたへもさへもかきつらむらひの御心もさへもかきつらむらひの御心も
そはよつたへもさへもかきつらむらひの御心もさへもかきつらむらひの御心も
ちかひの御心もさへもかきつらむらひの御心もさへもかきつらむらひの御心も

かきつらむらひの御心もさへもかきつらむらひの御心も
あまの御心もさへもかきつらむらひの御心も
とらふなまもさへもかきつらむらひの御心も
色づきぬらむらひの御心もさへもかきつらむらひの御心も
何れもさへもかきつらむらひの御心もさへもかきつらむらひの御心も
らひの御心もさへもかきつらむらひの御心もさへもかきつらむらひの御心も
あてたへもさへもかきつらむらひの御心もさへもかきつらむらひの御心も
そはよつたへもさへもかきつらむらひの御心もさへもかきつらむらひの御心も
ちかひの御心もさへもかきつらむらひの御心もさへもかきつらむらひの御心も

かきつらむらひの御心もさへもかきつらむらひの御心も

余光いふなるがー。地をてんのLokungのOmint。
まじいものをたてまじいものをー。またそのOmintは
のいとおつしをさるるはほやを神あていひ
むしんるむらじをさるるLokungのOmintは
LokungのOmintはさるるLokungのOmintは
ちちなるんをさるるがー。また地をてんの
たをいふなるのむけあてさるるLokungのOmintは
海いなるんをLokungのOmintはさるるOmintは

OmintのむけあてさるるLokungのOmintは
あつちなるんをさるるLokungのOmintは
さるるLokungのOmintはさるるLokungのOmintは
なれなるんをさるるLokungのOmintは
うしひなるんをさるるLokungのOmintは
さるるLokungのOmintはさるるLokungのOmintは
あつちなるんをさるるLokungのOmintは
さるるLokungのOmintはさるるLokungのOmintは
さるるLokungのOmintはさるるLokungのOmintは
さるるLokungのOmintはさるるLokungのOmintは

Omint

Omint

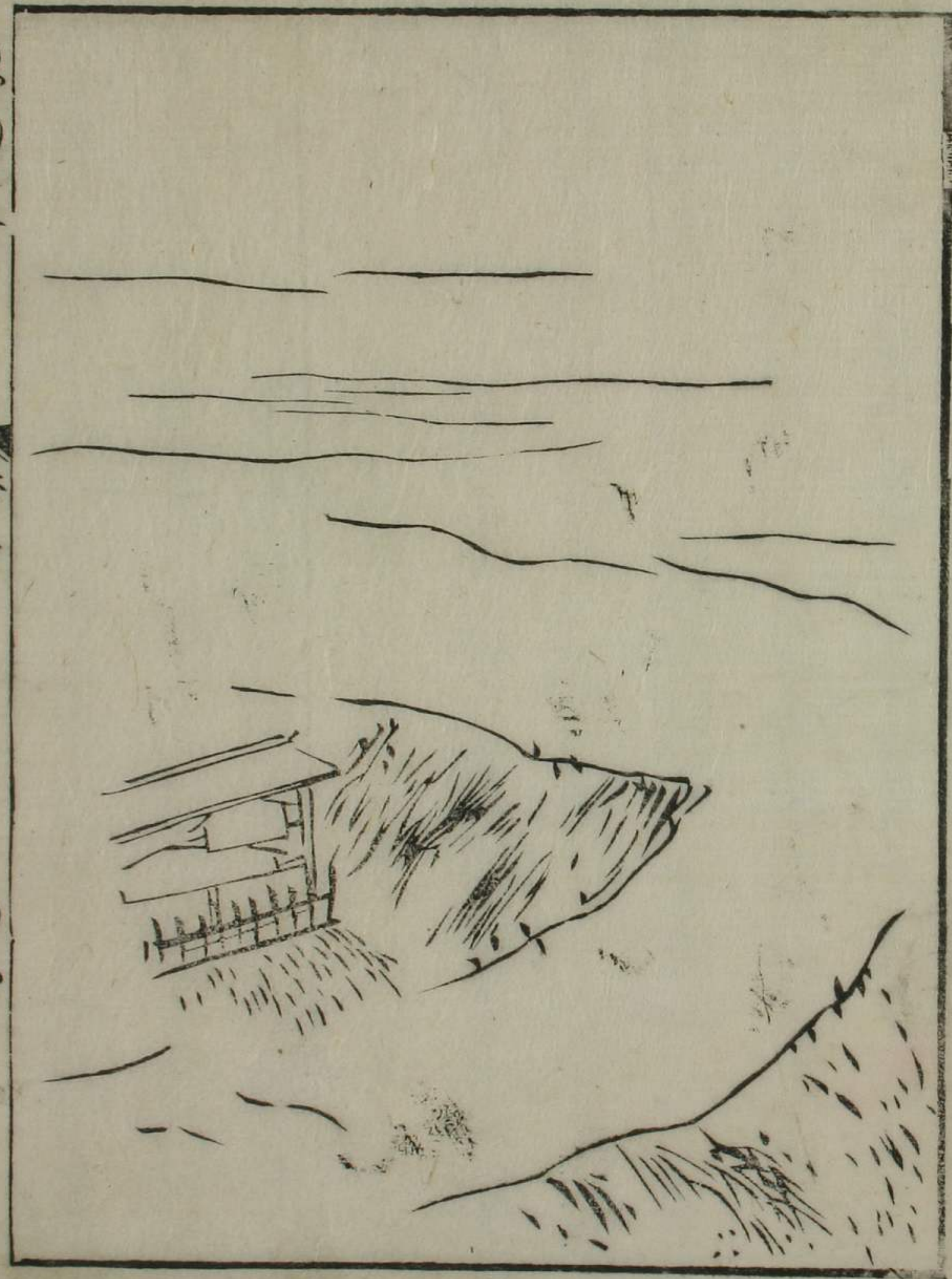
Omint

Main body of handwritten text on the right page, enclosed in a rectangular border.

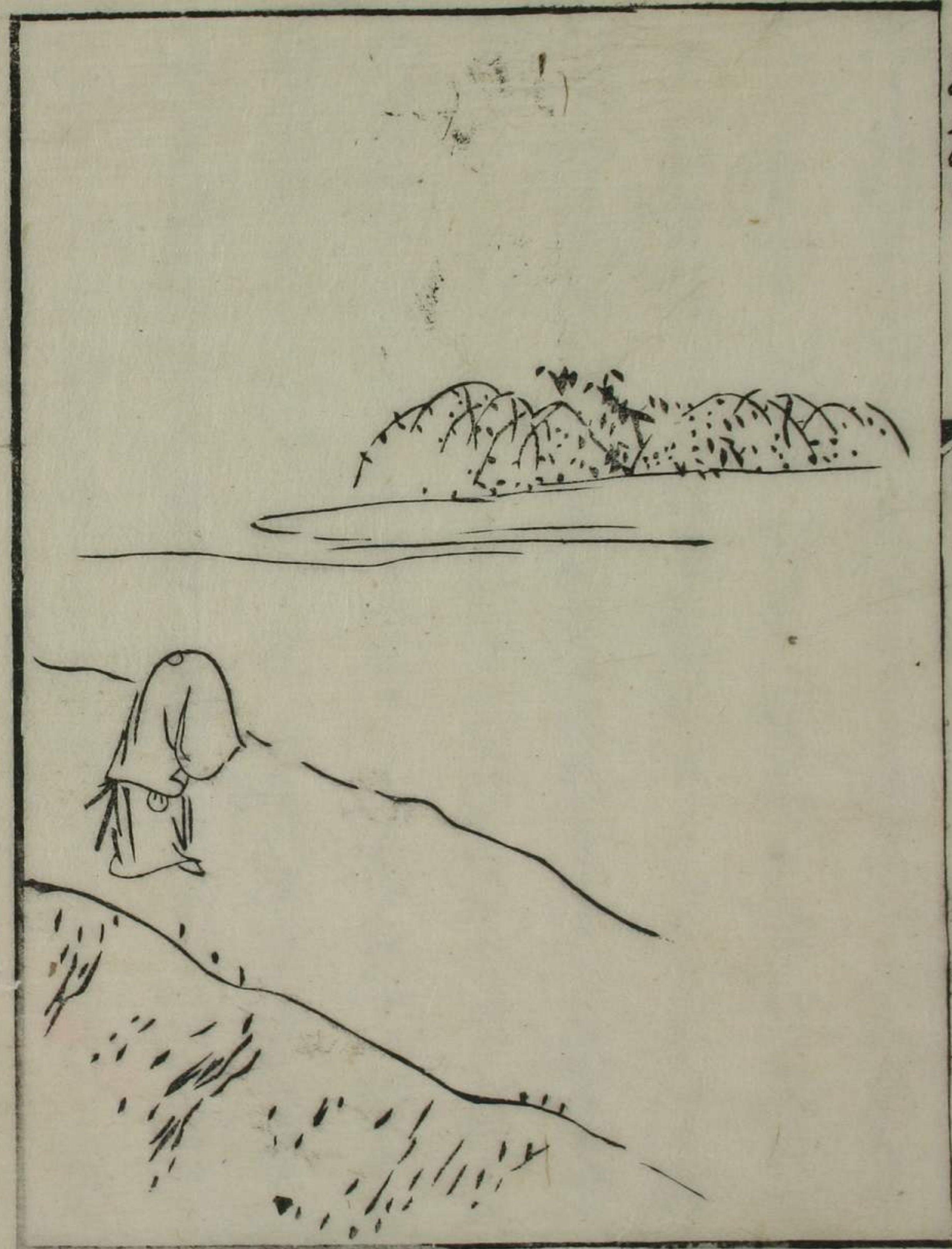
Main body of handwritten text on the left page, enclosed in a rectangular border.

Vertical handwritten text in the left margin of the left page.

卷之三



卷之三



卷之三

風かたなり。あなはしきものあたはしきものあはれて西の空
 とおそく西の空にゆはくならむ。はなれし雲もあはれはしきせて
 うき世に留るのものと世に留るものと。平なるあはれを
 常として海をさす。神有は世の事とは。あはれは
 こゝに人あはれなるもの。世に留るもの。あはれは
 あらう。海なるもの。あはれは世に留るもの。あはれは
 能く海なるもの。あはれは世に留るもの。あはれは

是れは世の事とは。あはれは世に留るもの。あはれは
 あらう。海なるもの。あはれは世に留るもの。あはれは

花のみよおのこを移して死にうつらう。幾波の栞のすいたる栞すれ
 せしものようつらう。あはれは世に留るもの。あはれは
 花のすいたる栞すれ。あはれは世に留るもの。あはれは
 あらう。海なるもの。あはれは世に留るもの。あはれは
 あらう。海なるもの。あはれは世に留るもの。あはれは
 あらう。海なるもの。あはれは世に留るもの。あはれは
 あらう。海なるもの。あはれは世に留るもの。あはれは
 あらう。海なるもの。あはれは世に留るもの。あはれは

日とあはしむ。鳥の「名年」をうぬむ。年物の書物とて
 祢のゆゑとて、是れ實數年間の物なり。ゆゑに「名年」の
 一書は、初めは「名年」の「名年」の「名年」の「名年」の
 名年とて、是れ實數年間の物なり。ゆゑに「名年」の
 名年とて、是れ實數年間の物なり。ゆゑに「名年」の
 名年とて、是れ實數年間の物なり。ゆゑに「名年」の

魂鏡惣勘定卷之下大尾

魂鏡惣勘定成最東都娘樓
 之情、至矣、當矣、正固于世書
 而學者、大損地理方言、可實
 之、而已矣。

平安

玉名水頭

東都

楚辭

卷之

